

事業計画書

1 事業者

2 事業地

3 転用目的

4 申請地を選定した具体的な理由

5 事業計画概要及び造成工事概要

6 資金計画

7 他法令との調整及び周辺農地への影響

8 資金計画

9 他法令との調整及び周辺農地への影響

補 足 説 明

「5 申請地を選定した具体的な理由及び面積の必要性」

- ・申請地でなければならない理由、目的に必要面積等を記載する。
- ・農家の分家住宅等の場合は、借家住まい、結婚等家族構成の増加により必要性に迫られている事情などを記載する。
- ・事業用駐車場、資材置場の場合は、現在の状況、今後の計画、必要面積の根拠を記載する。
- ・候補地の検討が必要な第2種農地の場合、地域、面積等の前提条件の根拠を示し申請地に至った経緯等を記載する。

「6 事業計画概要及び造成工事概要」

○事業計画概要

【自己住宅等宅地の場合】

敷地面積、建築面積、延べ面積、建ぺい率、容積率、駐車場台数

【駐車場の場合】

計画している駐車台数、台数の根拠、整備状況（コンクリート舗装など）

【資材置場】

具体的に何を置くか（収容する資材の種類、量、規模等）

例 砂利置場〇m²、碎石置場〇m²、車両（ダンプ〇台） など

○造成工事概要

【切り盛りがある場合】

造成面積、土量を記載し、周辺地への安全対策を記載する。

【切り盛りがない場合】

「切り盛りを行う造成工事は行わず、現況のまま利用する」などを記載する。

「8 資金計画」

工事費〇〇円、内訳：自己資金〇〇円、借入金〇〇円など

※申請書資金調達計画と一致させる。

「9 他法令との調整及び周辺農地への影響」

【都市計画法】

都市計画法 「○条許可申請中」、「届出」、「該当なし」など

【盛土条例】

- ・該当なし（現況利用のため造成なし、面積○m²かつ土量○m³）
- ・面積○m²、土量○m³のため許可済、申請中 など

【水循環保全条例】

「該当なし」又は「届出済」

【その他】

土地利用承認協議中、○○条例許可申請中 など

【周辺農地への影響】

- ・「隣接農地耕作者の了解を得ていること」を記載。
- ・隣接農地に迷惑がかかるない状況を記載
→「見切りを設置し、土砂流失等の周辺農地へ影響を与えない」、「排水は敷地内処理して別水路に放流のため農業用排水施設に影響を与えない」 など